

経営比較分析表（平成29年度決算）

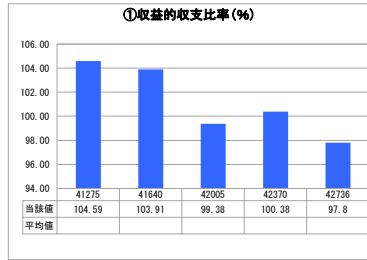
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有取率(%)	1か月20m ³ 当たり資産料金(円)
-	該当数値なし	0.82	100.00	3,360

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,227	29.18	1,070.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
255	0.12	2,125.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



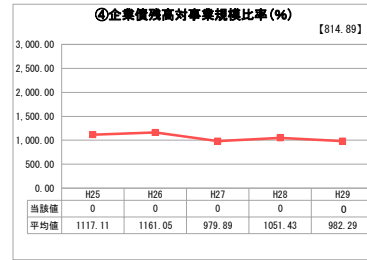
「単年度の収支」



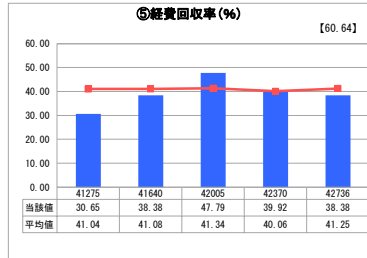
「累積欠損」



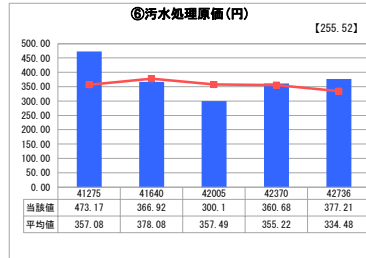
「支払能力」



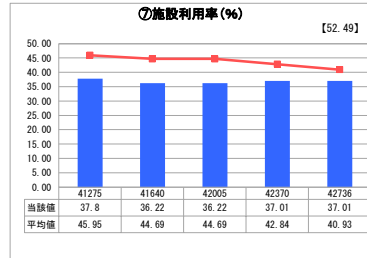
「債務残高」



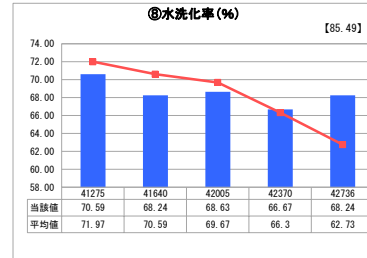
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

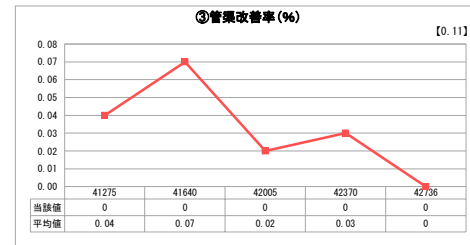
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率では料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理費に企業債元利償還金を加えた費用をどの程度賄えているかの指標になります。H29年度は100%を下回る結果となりました。
 ②「企業債残高対事業規模比率」は一般会計負担以外の地方債残高はないため比率としてあらわれておりません。
 ③経費を使用料でどの程度賄えているかを示す「経費回収率」はH29年度は類似団体平均値を下回る結果となりました。今後、施設の老朽化に伴う維持修繕による経費の増加が見込まれるため経費の効率化がより一層求められます。
 ④有収水量1m³あたりの汚水処理に要した費用である「汚水処理原価」は平均値を上回る結果となり、経費の効率化が求められています。
 ⑤施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する平均処理の割合である「施設利用率」については平均値には届いておらず、利用率をあげるためには地域住民の方に水洗化への啓発・推進を続けていく必要があります。
 ⑥「水洗化率」については、平均値を上回る結果となりましたが、施設利用率と同様にさらに水洗化への啓発・推進が必要です。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水は、平成16年度に供用を開始し、現在10年あまりの年数を経ています。管理は法定耐用年数までしばらくの期間を要しますが、今後は老朽管が発生した場合や修繕などに備え、事前に計画や対策などを作成したり投資設計していくことが必要となります。

全体総括

使用料収入については安定していますが、一般会計の負担も高い状況です。維持管理における経費の見直し等経営改善については、今後も引き続き行っていきます。
 また、より収益性を向上させるためには水洗化率の向上が必要であり、地域住民の方に対し啓発・推進を継続的に行っていく必要があります。
 将来に発生する施設の老朽化などの問題について総合的な計画に沿った事業運営が必要となります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。